

令和5年度 二川小学校はコミュニティ・スクールに取り組みます

1 コミュニティ・スクール導入の経緯

二川小学校は、コミュニティ・スクールの導入を旨とし、創立150周年記念事業の目標を、子ども、学校が抱える問題の解決を図るために『二川の未来を担う子どもたちの確かな成長のために、地域と学校が連携・協働して取り組める基盤づくり』とし、校区一体となって各事業を実施しました。

各事業を通し、連携・協働の基盤づくりは盤石ではありませんが、素地はできあがりました。特に留意して設立した、共育ボランティアの会「こねっと」が、地域と学校との連携・協働の核となり、地域全体で子どもの学びや成長を支える活動ができつつあります。

令和5年度、二川小学校はこれらの活動から、市の導入校4校に選ばれ、「地域とともにある学校」・「学校を核とした地域づくり」の実現に向けてコミュニティ・スクールを導入します。

2 コミュニティ・スクールについて

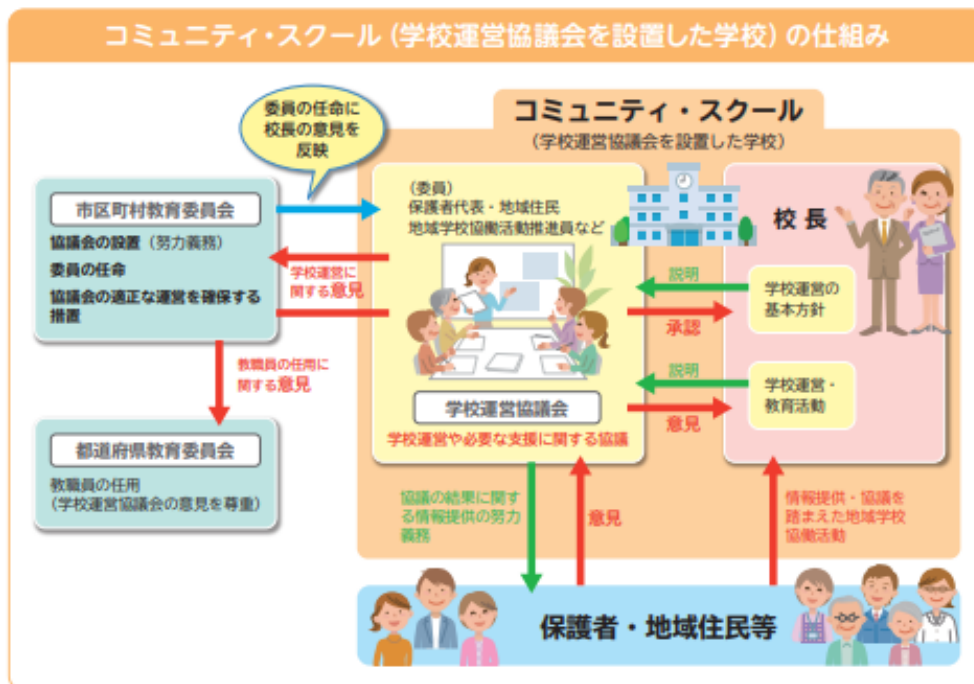
コミュニティ・スクールとは

コミュニティ・スクール = 学校運営協議会を設置した学校

学校運営協議会とは・・・

法律に基づき教育委員会により任命された委員が、一定の権限を持って、学校の運営とそのために必要な支援について協議する合議制の機関のことです。

コミュニティ・スクール（学校運営協議会を設置した学校）の仕組み



学校運営協議会の主な3つの役割 (地教行法第47条の6) ※令和2年4月～：第47条の5

- 1 校長が作成する学校運営の基本方針を承認すること
- 2 学校運営について、教育委員会又は校長に意見を述べることができる
- 3 教職員の任用に関して、教育委員会規則で定める事項について、教育委員会に意見を述べることができる

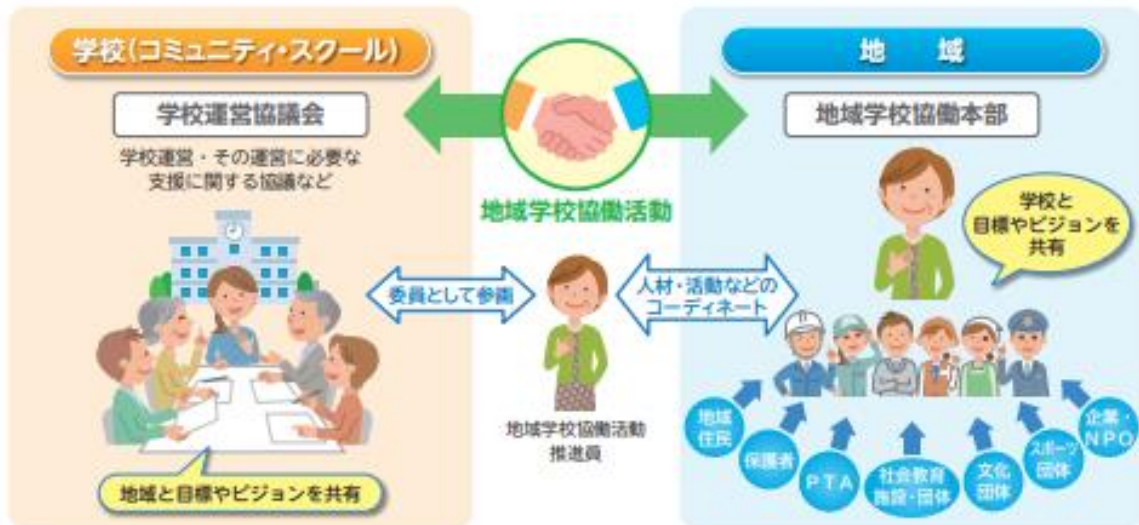
<文科省ホームページより>

3 学校運営校議会の構成

学校運営協議会員は市が15名程度を任命します。現在、二川小の校長と教頭、二川中の教頭、地域学校協働推進委員1名、地域・保護者の代表10名程度で構成する予定です。

4 二川小学校が目ざすコミュニティ・スクール構想

コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一つの取組として



コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に進めるためには、**まず関係者で目標やビジョンを共有することが重要で、学校運営協議会の協議や熟議^(*)等がその役割を果たします。**その結果を踏まえ、幅広い地域住民等が参画することによって、**教育活動や地域学校協働活動の充実や活性化につながります。**

学校運営協議会と地域学校協働本部は、それぞれがもつ役割を十分に機能させ、**一体的に推進することで、相乗効果を発揮し、学校運営の改善と地域づくりに資する活動が一層進んでいくことが期待されます。**

※「熟議」とは…多くの当事者が「熟慮」と「議論」によって問題の解決を目指す対話のこと。様々な立場の関係者が一つのテーブルにつくことで、新しいアイデアや考え方が生まれます。

5 導入までの計画

- 令和4年 7月 二川小コミュニティ・スクール説明会
※学校評議員、校長、教頭、市教委指導主事参加
- 8月 市所管のコミュニティ・スクール研修会
- 12月 コミュニティ・スクール研修会（臨時学校評議員会）
- 令和5年 1月 コミュニティ・スクール研修会（準備会）
コミュニティ・スクールについて地域情宣
- 3月 令和5年度学校運営基本方針に関わる協議会
- 4月 第1回学校運営協議会
コミュニティ・スクールの開始

